

臨床研究実施のお知らせ

研究情報の公開について(オプトアウト)

目的を含む研究の実施についての情報を公開し、患者さんが研究への参加をいつでも制限・拒否できる機会があることを「オプトアウト」といいます。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	アシクロビル脳症の臨床像に関する検討
本研究の研究責任者	社会医療法人 近森会 近森病院 脳神経内科 葛目大輔
当院の責任者	同上
研究目的	<p>帯状疱疹の治療には抗ウイルス薬であるアシクロビル(Acyclovir : ACV)に加えて、プロドラッグであるバラシクロビル(Valacyclovir : VACV)が用いられる。VACVは経口投与後、肝初回通過効果によりACVに加水分解される。</p> <p>ACVの排泄経路は腎であり、腎機能障害者に対してACVを投与した結果、ACVやその他の代謝産物の血中濃度が上昇し、意識障害、呂律困難、幻覚などの精神症状を来すアシクロビル脳症(ACV脳症)を発症することが知られているが、腎機能障害が指摘されていない患者にも発症したという報告が散見される。</p> <p>そこで、当院で加療を行ったACV脳症における臨床像を検討するために、後方視的に臨床研究を行うことにした。</p>
研究期間	対象者は2015年8月1日~2022年9月30日までに帯状疱疹に対してVACV投与中に急性脳症を来した症例。
研究方法	下記の項目について検討を行う。 年齢、性別、併存疾患(高血圧、糖尿病)、降圧薬の種類及びNSAIDs内服の有無、発症前と発症時のBUN、Cre、eGFR、クレアチニン-クリアランス、内服から症状が出現するまでの期間(日数)、透析療法の有無、治療開始から症状が改善するまでの期間(日数)、入院期間、など。
情報の提供先	なし
個人情報の取扱い	当院で厳重に管理する
利益相反について	なし
お問い合わせ先	社会医療法人 近森会 近森病院 脳神経内科 葛目大輔